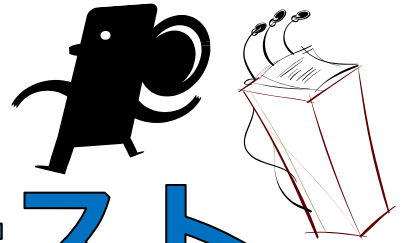


だい かい にほんご 第8回日本語 スピーチコンテスト



平成25年3月3日に、イーグレひめじ3階あいめっせホールで「第8回日本語スピーチコンテスト」を実施しました。今年は6か国14名の発表者が「今、聞いてほしいこと・伝えたいこと」をテーマに家族や日本で驚いたこと、これからの夢について熱く語りました。金賞に輝いたのは、「大きな声で」というスピーチをしたカナダ出身のミシェル ミルバーンさんです。来日前、日本人は静かなイメージでしたが、実際に来てみるとお店でも学校でも大きな声で挨拶をすることに驚いたそうです。ミシェルさんは学校で英語教師として働いていますが、最初は恥ずかしくてできなかった挨拶も、外国人だからという理由だけで黙っていたくないと、今では大きな声で挨拶できるようになったそうです。終始笑顔で、元気いっぱいに話してくれました。

銀賞を受賞したのは、中国出身で留学生として来日している劉恵琦さんです。「今、父に伝えたいこと」というスピーチで、故郷のお父さんに、外国生活を無事に過ごしているから心配しないでと報告しました。銅賞を受賞したのは、オーストラリア出身のキャサリン バーガマイスターさんで、「外国に住んで働くことはすごくいい経験です!」というスピーチをしました。

また、観客の投票で決まる「オーディエンス賞」に輝いたのは、「分かり合うのに大切なこと～辛く楽しい三か月～」というスピーチをした中国出身の留学生、周雲濤さんです。表彰式には、姫路市の公式キャラクター「しろまるひめ」も駆けつけてくれました。

故郷の家族の話や、来日まもない時の失敗談、息子のために父親ができることについてなど、残念ながら賞を逃してしまった発表者も、みなさんそれぞれすばらしいスピーチを披露してくれました。



▲金賞を受賞したミシェルさん



▲表彰式の様子（オーディエンス賞）